



## 増加する大麻事犯

最近では、俳優の伊勢谷友介容疑者が大麻所持で警視庁に逮捕される等芸能界の薬物事案。大学スポーツ界では、日本ラグビー部、近畿大サッカー部、東海大野球部と大麻がらみの不祥事が報道されています。大学生らは「興味本位で使用した」「SNSのツイッターで接触した売人等から入手した」等ということですが、全国では昨年大麻事犯の検挙者が4,570人と過去最多となり半数以上が青少年であり、滋賀県でも少年が検挙されています。

### 薬物乱用の甘い誘い

「1回だけなら平気さ」「イライラがとれてすっきりするよ」「みんなやってるよ」「やっていないのはきみだけ」「お金はこの次でいいよ」「大麻は世界で合法、安全、無害だ」

### たとえ「一回だけでも」乱用

1回だけと思って始めた人も薬物の依存性と耐性で使用する量や回数がどんどん増えていき、自分の意思で止めることができず。

### 「依存性」

薬物を繰り返して使わずにはいられなくなる

### 「耐性」

使用を繰り返すうちそれまでの量では効かなくなる

薬物の乱用により幻覚、妄想が現れ傷害事件や交通事故、入手するための金欲しさに借金、売春、恐喝、窃盗の事件を起こしたり、友達や家族を騙し暴力等で傷つけることとなります。

●誘いの言葉に騙されず、はっきり、きっぱり断りましょう。  
●悩んだときは、まず相談!!保健所や精神保健福祉センターなどに問い合わせましょう。

## 侵入者を寄せ付けない! 効果的な防犯対策とは?



侵入の最も多い手口は、5割以上が無締りによる侵入で、その次に多いのが約4割を占めるガラス破りです。とくに春や秋は窓を開放している家が多く狙われやすい傾向です。つまり「きちんと戸締まり、窓ガラスの防犯対策」がポイントです。

●**確実に施錠をしましょう**  
トイレや浴室、2階や3階の窓など一見入りにくそうな所が侵入口となっています。「こんなところ」と思わず鍵をかけましょう。

●**窓ガラスの防犯性能を強化しましょう**  
約半数の犯人が侵入に手間取り5分以上かかる場合は侵入を諦める傾向にあります。

①**補助錠をプラス**  
ロックの付いたクレセント錠、窓枠に補助錠を付けることで侵入を遅らせることができます。

②**窓ガラスに防犯フィルム**  
ガラス破りに備えて窓ガラス全面に防犯フィルムを貼るようにしましょう。(防犯性能が高い事を示すCPマーク認定品を選ぶこと。作業は専門業者に依頼。)

③**防犯ガラスに交換する**  
破壊するのに時間がかかり、打撃を加えても貫通しにくい(交換作業は専門業者に依頼)

④**面格子やシャッター、雨戸は有効**  
簡単に取り外せない「CPマーク」認定の面格子やシャッターを取り付けると効果が



### ⑤防犯センサーの設置

留守がちな場合は、窓・扉開閉検知センサーやガラス破り検知センサーなどが有効

### ●勝手口は無防備になっていませんか?

表玄関はツーロックや補助錠していても勝手口は無防備?勝手口は表通りからは死角になるので玄関同様に見直しを。

## 特殊詐欺の被害防止

「だまされたい自信がある」という過信が被害に遭うリスクを高めます。



オレオレ詐欺の被害者の約8割が「自分は被害に遭わない」と思っていた、理由は「だまされたい自信があった」と言います。自分はだまされないと自信をもっている人ほど被害に遭ってしまう傾向が伺えます。その上、被害者の約8割が誰にも連絡や相談をしないまま被害に遭っています。被害に遭いそうになった人や嘘を見破った人はだましの電話を受けた後に同居・別居の家族と話して嘘であることを確認したり、周囲に話をして被害が防止されています。

誰でもだまされてしまう危険性があることを意識して日頃から詐欺の電話に備えましょう。

● 賛助会員を募集しています。

お問い合わせは、滋賀県防犯協会事務局まで  
(077) 5251-6529

賛助会員のプレート

